

湯婆婆「契約書だよ。そこに名前を書きな。」

氏名：荻野千尋

湯婆婆「フン。荻野千尋というのかい。贅沢な名だねえ。今からお前の名前は千だ。いいかい、千だよ。分かったら返事をするんだ、千！」